

血液・血管の健康管理で突然死を防ぐ 冠元顆粒で血液をサラサラに

突然死は本当に「突然」の死？

オリンピックのメダリストで二六歳の競泳選手や元日本代表の三四歳のサッカー選手が練習中に突然倒れてそのまま亡くなってしまったというニュースも記憶に新しいものです。日々身体を鍛え、食事も管理されている現役の一流アスリートでも「突然死」に襲われることがあります。

実に突然死の七六％は心臓と脳の血管に何らかの問題を抱えていて、心臓の血管に問題のある人なら狭心症や心筋梗塞、脳血管に問題のある人なら脳血栓や脳出血等の疾患を引き起こしたのです。これらの血管病はいずれも中医学でいう「瘀血（おけつ、血の滞り）」に關係する病気です。

もしも、このような人が早めに養生・飲食・運動・休憩などに気をつけて自分に合った活血化瘀（かつけつ）かお、血行改善）薬を服用して血液をサラサラに保っていたなら突然死は未然に防ぐことができたかも知れません。その意味で突然死は事前に察知し予防できない「突然」の死ではないのです。

血管が弾力を失って硬くもろくなる動脈硬化は一つの老化現象だとされてきました。しかし、先ほどの例

にもあるように児童や若者などの若年層にも動脈硬化が増えています。その原因として考えられているのが飲食習慣、特に偏食による銅・クロム・マンガンなど人体に必要なミネラル（微量元素）の摂取不足にあるといわれています。漢方でもよく使われる瘀血を改善する丹参（タンシン）や红花（コウカ）などの活血化瘀薬はこのような微量元素が豊富に含まれています。

瘀血と痰が現代難病のもと

中医学では、人体を構成する成分として「気（き）、血（けつ）、水（すい）、体内の有益な水分」の存在を重視しています。気、血、水は一ヶ所にとどまることなく、常に体内を循環していなくてはなりません。気の巡りが滞れば「気滯（きたい）」、血の巡りが滞れば「瘀血（きたい）」、水の停滞は「痰湿（たんじつ、余分な水分）」と呼ばれ、様々な病気を引き起こす元凶となるものとしています。

これらが体内に長くとどまると、互いに影響し、運行を阻害しあって症状を複雑にします。現代の難病といわれているものの多くは痰（余分な水分）と瘀血がからみあって面倒な病巣を形成しています。慢性化してくると病気の抵抗も下がり、痰と瘀血の病巣を通じさせることもさらに難しくなり、治療も一筋縄ではいきません。例えば、動脈の内膜にで

きる粥状硬化（じゅくじょうこうか、アテローム）をはじめ、慢性関節リウマチ、ガンなどの病気は、痰と瘀血が影響しあい、正気（免疫力）の不足によって引き起こされるものです。

これらの中医学での治療法は、正気を高め、痰を溶かし活血化瘀によって滞り固まった箇所をスムーズに流れるようにします。これによって粥状硬化は動脈の弾力を取り戻しスムーズに流れるようになります。

今回おすすめする「冠元顆粒」には丹参、红花などが配合され、血液をサラサラにする働きがあります。血液・血管の健康管理で「突然死」を防ぎましょう。

- ・イスクラ産業「冠元顆粒」
- 九〇包入り 一三、二五〇円
- 四五包入り 七、〇三五円
- 二一包入り 三、五〇〇円



「冠元顆粒」についてのご相談・質問は店頭だけでなく、お電話でも受け付けております。

「健康的にダイエット！」なら「マイクロダイエット」をお試ください

ゆがの薬局

マイクロダイエット正規取扱店

賀茂郡河津町浜149-4 TEL0558-34-0150
 当店ウェブサイト <http://www.yugano-ph.co.jp>

